

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の現状 (DO)	事務事業名	No. 680306	放課後児童健全育成事業				主管課名	子育て支援				
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	増岡 総一郎				
		施策	安心して子どもを産み、育てられるまち									
		基本事業	子育て支援サービスの充実									
	(1)事業の概要											
	保護者の就労等により家庭での監護養育に欠ける児童を対象に、支援センターと学校の空き教室などを利用して、保護者が帰宅するまで指導員のもとで自主活動、遊びを中心とした生活の場を提供する。平成26年度から、放課後児童健全育成事業運営費補助事業を統合する。 開設日：通年利用は、毎週月曜日から金曜日までの開校日。長期休暇中のうち、夏季休暇は、第2クラブを3クラブ開設する。また、月の連休及び元旦を除いた祝日を3児童クラブにて開所。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)					
							名 称	単 位				
							児童クラブ利用延べ人数	人				
							その指標					
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		夏休み期間は中部、北部、三好丘小学校の3ヶ所を加え実施した。通年利用料は、月額4,860円、8月期のみ月10,500円徴収した。									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	平成26年度から、放課後児童健全育成事業運営費補助事業を統合する									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)						
みよし市内小学1～4年生の児童(含む特殊) 入所を希望する児童 みよし市内小学1～6年生の児童(含む特殊)						名 称			単 位			
						小学1～4年生の児童数			人			
						入所を希望する児童数			人			
						小学1～6年生の児童数			人			
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)						
入所希望保護者の児童を入所できるようにする						名 称			単 位			
						入所児童数			人			
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)						
安心して子育てしてもらおう						名 称			単 位			
						子育て支援の相談件数			件			
						ファミリー・サポート・センター援助活動の回数			回			
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		人	4,081	4,055	4,055	4,055	4,055	4,055				
(6)の対象指標		人	2,872	2,761	2,653	2,653	2,653	2,653				
		人	360	360	360	540	540	540				
		人	4,361	4,377	4,242	4,242	4,242	4,242				
(7)の成果指標		人	372	377	372	400	400	400				
(8)の結果の成果指標		件	1,417	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234				
		回	1,969	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	52,542	53,421	66,232	143,100	153,600	158,600				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	19,108	20,666	17,628	14,317	14,317	14,317				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	19,049	20,523	17,628	17,972	17,972	17,972				
	一般財源	千円	14,385	12,232	30,976	110,811	121,311	126,311				
人件費B		千円	54,275	6,382	6,382	6,382	6,382	6,382				
正職員従事時間×人数		時間×人	587 × 3	492 × 3	492 × 3	492 × 3	492 × 3	492 × 3				
正職員以外の人件費		千円	47,641	910	910	910	910	910				
その他費用C		千円	934	807	807	807	807	807				
トータルコストA+B+C		千円	107,751	60,610	73,421	150,289	160,789	165,789				
単位あたりコスト		千円/ 人	38	22	28	57	61	62				
(トータルコスト)/(6)の対象指標)		千円/ 人	299	168	204	278	298	307				
		千円/ 人		14	17	35	38	39				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 680306 放課後児童健全育成事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成11年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 子ども子育て関連3法の成立により早ければ、平成27年度より6年生まで対象児童が拡大される見込みで今後の利用人数は増加するものと考えられるが、北部児童クラブは同年度より空き教室がなくなる見込みのため、校舎内での開設が困難と推測される。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昼間就労等で保護者がいない家庭の増加に伴い、学童保育の実施に対する要望が高まったため。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し 放課後児童健全育成事業運営費補助事業と統合している 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 児童福祉法 この事務を行う根拠又は理由	保護者の就労等により家庭での監護養育に欠ける児童を支援するため		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容	子ども子育て支援法の規定により、6年生までが対象と法定化されたため。	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由又は内容	小学校の空き教室を利用し、児童クラブが実施可能となれば定員枠を増やすことができる。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	トワイライトスクール事業 ある ない	教育委員会所管事業のため、市長部局より学校と格段に調整がとりやすい。
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容	教育委員会が同事業を取り組むこと。	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容	放課後児童クラブ事業を委託事業として民間活力を導入する。	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	小学校の空き教室が無く、今後も放課後児童クラブを開設するための施設の確保が難しい。しかしながら、共働き世帯からの放課後児童クラブの利用ニーズは益々高まっており、さらに子ども子育て関連3法の成立により早ければ、平成27年度より6年生まで対象児童が拡大される見込みである。よって今後は、校内へのプレハブハウスの対応、もしくは既存の学校施設を含めた地域の公共施設での新規実施を進めていく。					